



第2号は、家庭につなげるをテーマに、ホームページの活用、手順書(清掃)の活用、家庭に還元できる就労に向けた各部の取組、タブレットの活用、産業現場等における実習、就労について、御紹介いたします。学校内での取組や児童生徒の様子、校外での活動の様子を知っていただき、今後も本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## 教頭挨拶

### 平山教頭

日頃より、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

秋晴れの土曜日、ふよう祭～交流学习発表会～（小学部）が、久々に全学年で開催されました。

校内には、児童の力作が展示され多くの保護者等やボランティアの方々が熱心に御覧くださいました。

体育館では、児童が衣装を着て、ダンスや合奏、手話ソングなど日頃の学習の成果を発表しました。衣装を身に着けることが難しかったり、順番を待つことが苦手だったりする児童が、苦手なことにもチャレンジし、自信に裏付けされた笑顔で伸び伸びと発表する姿に、日々の積み重ねの大切さを感じました。

ボランティアの方々には、大道具の出し入れや児童の見守りなど御協力いただきました。「子どもたちが笑顔で発表しているのを見て、楽しい気持ちになった」「手をつないでくれたり、話しかけたりしてくれて嬉しかった」などの感想をいただきました。地域の方々と関わることで、人と関わる楽しさを広げる学びの機会となりました。

### 岩沼教頭

今年度本校に赴任いたしました教頭の岩沼と申します。よろしくお願いいたします。

「共生社会」という言葉を聞いたことがありますでしょうか。「共生社会」とは、障害の有無、年齢、性別などに関わらず、すべての人が互いを尊重し、人々の多様なあり方を認め合い、それぞれが役割をもつ全員参加型の社会と言われています。今年度は「富屋つなげる・つなげるプロジェクト」として「学びをつなげる」「家庭につなげる」「人をつなげる」「地域とつなげる」をキーワードに取組を進めているところですが、これらの取組の先には「共生社会」の実現があることを願っております。

様々なつながりのなかで、まだまだ御支援をいただくことの多い本校児童生徒ですが、地域への貢献活動も少しずつ増やしているところです。日々の教育活動により少しずつ成長していく本校児童生徒。皆様の御協力をいただきながら、社会や地域に役割をもって生きていける力を育てていきたいと思います。今後とも御支援、御協力をお願いいたします。

## 教務部です ～本校のホームページについて御紹介します～

本校で今年度重点的に取り組んでいる『富屋 つなげる・つながるプロジェクト』において、重要な役割を果たすのがホームページです。本校では、昨年度「見やすい、分かりやすい、発信力のある」ホームページを目指してリニューアルに取り組み、日常の学習の様子をより具体的に分かりやすく家庭や地域の皆さんにお伝えできるように発信しています。

記事の一部を御紹介します。

**小学部**では、生活単元学習「秋をかんじよう」の中で、「秋」の虫の鳴き声を聞いたり、木の実や食べ物に触れたりして、季節の移り変わりや「秋」について学んだ様子を紹介しています。

**中学部**では、晃陽中学校との学校間交流について掲載しています。事前学習や2回の交流を通して、少しずつお互いの理解が深まり、楽しい時間を過ごした様子について紹介しています。

**高等部**では、「施設職場見学」に行ったときの写真を掲載し、真剣な表情で説明を聞く様子から、将来を見据え、卒業後の進路について学んでいる姿を紹介しています。

この他にも、体験学習や早期教育相談の情報、PTA 活動の様子など本校での様々な取組についても紹介しています。本校について少しでも知っていただくことで、児童生徒の豊かな社会生活につながっていくことを願っています。

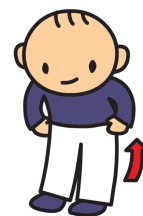
富屋特別支援学校 HP  
ぜひ御覧ください



## 研修部です ～今年度、各学部で重点的に取り組んでいることをお伝えします～

小学部では、社会的・職業的自立に向け、生きて働く力の育成を目指し、今年度は**着替え**についての研究を行っています。児童の発達段階や実態に応じていくつかの着替え手順表を作成し、それを基に学部全体で統一した手順で着替え指導を実践しています。

実践結果を検討し、今年度末にはホームページに着替え手順表を公開しますのでぜひ御覧ください。



中学部では、共通した手順表を使用して机拭きや廊下のモップ掛けなどの**清掃**に取り組んでいます。手順表を作成し、繰り返し学習することで、少しずつできるようになってきています。夏季休業時に手順表を家庭に配布したり、懇談時に清掃の取組を写真や動画で伝えたりしています。今後も、家庭と連携しながら継続した取組を進めていきたいと思います。



高等部では、各教科で身に付いた力の定着を目指し、生活単元学習についての研究を行っています。今年度はその中でも、**校外学習（1年生）**、**校外宿泊学習（2年生）**、**修学旅行（3年生）**について力を入れました。生徒が「何をどのように学ぶのか」「どのような力が身に付くのか」を明確にし、学んだことを家庭生活や社会生活、職業生活につなげることができるような学習内容を実践してきました。その様子は、日々の連絡帳や個人懇談、学部だより「たんぽぽ」やホームページなどでお伝えしています。今後も、生徒の学習の成果を御家庭に発信していきたいと思います。



## 進路指導部です ～今年度、進路指導部で重点的に取り組んでいることをお伝えします～

進路指導部では、卒業後の自立に向けて、小学部、中学部、高等部と系統的な指導、一貫した指導に取り組んでいます。今回は、高等部段階での進路指導についてお伝えします。

高等部では、各学期に1回、2週間の産業現場等における実習及び校内実習を実施しています。1年1学期から2年1学期までの4回の校内実習で、働くために必要な力を身に付けることができるように学習しています。挨拶、報告、相談や作業に取り組む姿勢などの態度面を中心に学習しています。毎回、事前学習で目標を立て、実習中に目標を達成するために取り組み、事後学習で振り返りを行い、成果と課題について生徒自身が気づき、課題に取り組むことができるように指導しています。また、施設職場見学や就業体験活動、進路懇談会などで、卒業生が働いている様子やいろいろな職業があることを知り、将来に向けて働く意欲を育てることができるよう指導しています。そして、2年生2学期から3年生3学期まで5回の産業現場等における実習があります。宇都宮市内を中心に企業や福祉事業所に御協力いただき、実習を行っています。実際に、生徒が希望する実習先で2週間の実習を行います。実習の最後には、反省会を実施して、実習先の方々から評価をしていただきます。実習の後には、事後学習で実習を振り返ります。それぞれの生徒にあった進路選択、進路決定をすることができるよう、生徒本人、保護者等と懇談を実施しています。また、宇都宮市障がい福祉課、生徒を担当する相談支援専門員と連携を図りながら、卒業後の自立に向けて、情報交換を実施しています。



「企業で働く。」「福祉サービスを利用する。」など様々な進路選択がありますが、生徒が卒業後に自立して生活をするように、家庭や地域とつながりながら、進路指導を行っています。